

## ■2017 トキ野生復帰シンポジウム 田からもの未来会議に参加しました

8月19日（土）、トキ野生復帰事業を軸とする生物多様性保全の取組みの意義や成果等を広く発信するとともに、交流の促進を図るために佐渡市で開催されたシンポジウムに、中野俣小学校の6年生2名が参加しました。

### <自己紹介・取組紹介>

トキの分散飼育地や生物多様性の保全を推進する各地の生徒、児童が紹介を行う中、中野俣小学校の児童は、昭和39年から続けている野鳥探鳥会や、毎年地域の方々と協力して掃除している、「カワセミの池」での水生生物調査の結果などを発表しました。



### <田んぼの生き物調査・江掘り作業体験>

田んぼの周りには生き物の種類・数から、トキにとって暮らしやすい環境なのか調べました。調査の後には、田んぼ周りの江（深み）を掃除する、「江掘り」を体験。江を整えることで、冬でも生き物がいる環境ができるそうです。



### <トキに関連した施設の見学>

環境省佐渡自然保護官事務所のレンジャーから、順化訓練の目的について説明を受けました。トキは放鳥される前に、訓練によって餌を探す能力や、群れて生活することによる社会性などを身につけます。このほか、トキの飼育ケージのモニターを見学したり、観察棟からケージ内のトキの様子を観察しました。



中野俣小学校の児童は、各地の子どもたちとの交流を深めながら、トキ保護や自然環境の保全について学びました。これからも、生き物や自然を大切にすることをもち続けてほしいですね。